のび

のにじたなののにする

７１

＜＞

|  |
| --- |
| は、とはなり、やのき、をいにするである。をとするたちは、をえ、をし、をえ、いのちをしうためになとして、をにんできた。しかし、い、がであることのはまってこなかった。  また、をむのにじたなをぶことができないことで、をとするそののは、はにおいてなをけ、そののにおいてものがなにかれている。  は、「ては、なり、（をむ。）そのののためのについてののがされるとともに、のはのためのについてのののがられること」をとして、てのが、のによってけてられることなく、にとをしいながらするのをることとしている。  こうしたから、たちは、がであることのにめるとともに、にとってのにじたながであることをしくし、がしやすいものとなるようにをえていくがある。  たちは、があってもらなくらのをにえ、にをることができるづくりをし、のにかかわらずもがしてできるをするため、このをする。 |

【】

では、このののやをしています。

**１**では、がどのようなものなのか、をとするが、をにしてきたをらかにしています。

　がいをち、その、ろう（にまれつきはそれとからにのがあり、それにより（）のがだった）にとっては、ずしもがしやすいでない（※１）もありましたが、ろうがをにしなをねた、２３に「がである」とにめられるまでにがってきました（※２）。

　は、ろうのコミュニケーションをにするだけでなく、ろうのかなとをしています。これからも、にするをげの・をることがめられています。

※１　、がした、のにいでのがされたがありました。

※２　４５からのがまりました。また、５にはがをコミュニケーションのつとしました。に、２３に「」がされ、「（をむ。）」とされました。

**２**では、ののについてしています。

「」や「アクセシビリティ・コミュニケーション」のようなながされましたが、のアンケートのややそのにうと、はまだまだであるといえます。

これは、のなニーズにえるがされていないからとえられます。

**３**では、「」においてののためののつとしてされている、のなについてしています。

**４**では、がじでにらし、び、くことができ、かにをるためには、のによってけてられることなくがられ、おいのちやえをし、し、めうことがとなることをしています。

しかしながら２にあるようににおいてながされていないことから、ではがめるのだけでなく、がらすなですべきものであるとえ、においてそれをするための「がであることの」び「のにじたながしやすいの」がめられているとえました。

**５**ではをしたをしています。

があってもらなくらのをにえ、にをることができるづくりをし、のにかかわらずもがしてできるのにするため、このをすることとしました。

**「」と「」のなのについて**

では、５にした「５」に「のびにするの・のとして、のにじた、わかりやすいのやへのにりむ」ことをけました。

をするにあたり、ろうにとってのは、なるではなく、その、から「がのをするである。」として、これからもろうにとってはなものであり、がであることについてにけしなければならないとえました。

、にけとをい、をねた、「とするだけでなく、のあるすべてののことをえなについてのをるがある。」とのにり、のてなく、のにかかわらず、にきるをつくるというのから、とをにすることとしました。

＜＞

|  |
| --- |
| １　このは、のびのにじたなののにし、をめ、びにのびにびのをらかにするとともに、のするをめることにより、のにかかわらずもがしてできるのにすることをとする。 |

【】

のをめています。

のをしてしています。をめ、のびびにのをらかにしのするをめることで、にあるがであるとのにづくの、のにじたながしやすいのがみ、てのがのにかかわらずもがしてできるのにすることをとしています。

＜の＞

|  |
| --- |
| ２　このにおいて、のにげるのは、にめるところによる。  （１）　、、（をむ。）そのののの（「」という。）があるであって、び（があるにとってはをむでとなるようなにおける、、、そののものをいう。）によりにはになをけるにあるものをいう。  （２）　、、、、、、、、なそのをし、びし、びにをるためのをいう。  （３）　にし、はし、しくはするをいう。  （４）　においてをうはそののをいう。 |

【】

このでしているのをめています。

（１）では、、についてめています。

「」び「」については、「」でづけられているとです。

（２）では、についてめています。

　のにするをに、がのにじてをしたり、したり、をうについてしています。

とは、ファックス、スマートフォン、タブレットといったにえてそれらをしたアプリケーションもみます。

　なには、、、などとコミュニケーションをとるに、いで「ゆっくり」、「ていねいに」、「くりし」する、やかなでしかける、なはいずできるだけにする、やにふりがなをふるなどがあります。

**【そののなの】**

、、、、、り、り、、コミュニケーションボードなどがあります。

（３）では、についてめています。

　てのがのにかかわらずもがしてできるをすることをとしていることから、にするだけでなく、のにする、にあるにしているもめています。

（４）では、についてめています。

　においてをうはそののには、・、・をいません（やをないのをう、をうや）。

＜＞

|  |
| --- |
| ３　のびのにじたなののは、てのがのによってけてられることなく、にとをしうことがであるとののにわれなければならない。  ２　のは、がのをするであるというのにわれなければならない。  ３　のにじたなののは、がのにじたなをするがされることをとしてわれなければならない。 |

【】

のびのにじたなののをるでのなえをめています。

１では、もが、おいにやをすることがであることをしてわなければならないことをめています。

２では、のは、はのをするであり、いろうがをにしてきたことをしてわなければならないことをめています。

３では、のにじたなをがらし、できるがされることをとしてわなければならないことをめています。

＜の＞

|  |
| --- |
| ４　は、にめる（「」という。）にのっとり、のびのにじたなののにするをするものとする。 |

【】

のをするために、がたすべきをめています。

にのっとり、のびのにじたなののにするをするとしています。

については、７でしています。

**【「の」と「の」・「の」のいについて】**

「の」

　はこのをするであり、やよりやをわなければならないことからとしました。

「の」・「の」

　びにものへのをめていますが、”にしていただきたい・おいにけって、そのをしたでしていただきたい”とえ、がすべきやののをいる「」ではなく、のであるのにけて、もがしてりみやすくするため、「」としました。

＜の＞

|  |
| --- |
| ５　は、にするをめ、がするにするようめるものとする。 |

【】

のをするために、のについてめています。

は、こののにするをめ、がするのびのにじたなののにするをすることについて、がするようにめることをめています。

とのヒアリングでは、

・　これまでのにじたなをび、できなかったことで、によってはがにしられてしまう、のえたいことがえられない。

・　のによりのちがし、がりづらくなることがある、にやでられてしまう。

などのがあり、が、やにおいてくのや

をじながらをしていることがわかりました。

また、からとするがないは、にしていイメージをっていたり、っているにどのようにをかけてよいかわからないなど、どのようながかからず、をかけることをためらってしまうこともあったかもしれません。

がじでにらし、び、くことができ、かにをしていくためには、のによってけてられることなくがられ、おいのちやえをし、し、めうことがとなります。おいをするためにはがです。そのためには、まず、にはどのようながあるのかすることがです。

また、は、にどのようながであるかをえ、おいのをしながらをうことがです。

それぞれのにじたをして、がまれることで、おいのがまります。また、からをることで、のなにもつながります。

**「へのな」についての**

くのが、のにじたによりをることができるようになることで、よりくのにがり、もがしてらすことができるまちにすることができるよう、のようなをおいします。

**１　やなど**

　や、などのは、やなどのによるをくことや、によるをること、をすることができないため、ながられません。

　そうにあたりをっているをかけたら、かけやメモなどでっていることがないかをし、なをえましょう。

**２　など**

　するやをすることができるよう、はのにをえる、がのをしたり、やがしやすいよう、ゆっくり、わかりやすいですようがけましょう。

**３　における**

　など、がしてできるよう、に、、ファックス、メールなどのをけたり、あらかじめ、なをしのにえておきましょう。

＜の＞

|  |
| --- |
| ６　は、にするをめ、がするにするようめるものとする。  ２　は、をうにたり、がのにじたなをするためのなをうものとする。 |

【】

のをするために、のについてめています。

１では、は、こののにするをめ、がするのびのにじたなののにするをすることについて、するようにめることをめています。

２では、はをうにあたり、がのにじたなをするためのをうこととしています。

へのは、３に「」がされ、によるへののが６４よりされたことから「うものとする」としました。

※

　から、のにあるバリアをりくためにらかのをとしているとのがえられたに、がすぎないですることがめられるというものです。

**「がのにじたなをするためのな」についての**

　のをくみり、なサービスができるよう、のようなをおいします。

**１　コミュニケーションツール**

・サービスなど、からののにするしにじたをう。

・いわせには、、ファックス、メールなどのをする。

・になもの、コミュニケーションボードをあらかじめしておく。

・やメニューにあらかじめふりがな、、、をける。

**２　づかいやにする**

・やしい、をく、にする。

・やりやりをしたり、ゆっくり、わかりやすいです。

・のについてのをしながらする。

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　など

＜の＞

|  |
| --- |
| ７　は、のびのにじたなのをするため、にげるをにするものとする。  （1）がであることのにする  （2）のにじたなにするのにする  （3）のにじたなをしやすいのにする  （4）そのがとめる  ２　は、そののにおいて、にし、のびびにのになをずるようめるものとする。 |

【】

４にめるのとして、がにするについてめています。

１（１）では、がであることのにするとして、がのをするであり、い、ろうがをにしてきたことについて、、、などなをけしていきます。

１（２）では、のにじたなにするのにするとして、やがとのについてをめていただけるよう、、、、、、、、、なのがやにおいてのや、にとされるについて、、などなをけしていきます。

１（３）では、のにじたなをしやすいのにするとして、をしていきます。

**①のためのツールの**

でのコミュニケーションボードの、サービス、のし、をります。

また、、のがしいＩＣＴにより、スマートフォンやタブレットなどののやアプリケーションをしてをうとともにそれらのサービスができるようをしたりにじます。

**②のためのと**

わかりやすいやづかいにしていきます。

**③のやボランティアとの**

、のや、のやボランティアなどとのをしていきます。

１（４）では、にじがとめるをいます。

２では、そのののにおいては、の、、がとなりますが、にとってがよりになることがされます。そのため、のにじたなにより、にするをかつにすることができるようにするためになをいます。

＜の＞

|  |
| --- |
| ８　は、１にげるをし、び２にするをずるため、があるとめるときは、そのののをくものとする。 |

【】

のはのにするため、のにあたっては、、、での、の、、のなどとをしめていきます。

＜＞

|  |
| --- |
| ９　こののにしなは、がめる。 |

【】

こののにしなは、がにめるとしています。

＜＞

|  |
| --- |
| このは、のからする。 |

【】

　こののについてめたものです。

のは、にとって、、にしているだけでなく、がいつするかわからないことから、、ちにすることとしました。

（）　６１２２４